

函館フットボールパーク 第1回 キックベースボール大会 試合ルールについて

■大会のレギュレーションについて

- ・試合は20分を経過した時点のイニング（表・裏）で終了とする。
（20分を超えて次のイニングには入らない）
- ・20分経過した時点でのイニングが、30分経過しても終了しない場合はその時点で時間切れ終了とする。
- ・参加チームを2～3ブロックに分け、リーグ戦を行う。

■試合のルールについて

- ・攻撃側のプレイヤーが、3人アウトになると攻撃・守備が交代する。
- ・守備側は1名ピッチャー、残り6名の計7名で行う（捕手は置かない）
- ・ピッチャー以外の守備位置は常識の範囲内で自由とする
- ・ボールは4号フットサル球を使用する（主催者で用意します）。
- ・選手の交代は自由とするが、一旦試合から退いた選手はその試合には参加できない。
- ・先攻・後攻決めは試合前に両チーム代表者による、ジャンケンで決定する
- ・審判は参加チームによる持ち回りとする。（主審1名・塁審2名・外野審判2名）

■投手のプレーについて

- ・投手は投手板に足を乗せボールをホームベースめがけて、アンダースローで投球すること。（オーバースローや、サイドスローは禁止）
- ・スピンをかけるなどの変化球を用いても良い。
- ・バウンドの高いボールは全てボールとなる。（ただし、打者がキックした場合はこの限りでない。）

■打者のプレーについて

- ・打者は、投手から投げられたボールをキックし1塁へ走る。
- ・バントライン（5m）を越えない打球はファール。
- ・キッカーが見送ったボールに関しては、野球等と同様にホームベースの通過位置を基準としたストライク・ボールの判定を行い、3ストライクでアウトとする。
- ・ファールはすべてストライク扱いとし、2ストライクからのファールはアウトとする。
- ・ファール・フェアの判定は野球等と同様の扱いとする
- ・デッドボール、フォアボールはなし。
- ・キッカーは投球された球に2回以上触れることはできない。（一度止めて蹴るなど）
2回以上触れた場合はアウトとする

- ・ホームランラインをノーバウンドで越えた場合はホームランとする。
- ・ホームランラインをゴロで越えれば2塁打とする。ただし、守備側の選手に触れて越えた場合は、フリーとする。
- ・キック制限ラインより前でキックした場合はノーカウントとし、やり直させる。
(2回続けて行った場合は、ファール1回とする。)

■走者のプレーについて

- ・走者は、打者がボールをキックするまでは離塁できない。
(リードをとった場合はアウトとする)
- ・盗塁・タッチアップはなしとする。
- ・走者は、投げられたボールおよび野手からの触球(タッチ)を避けようとして、ベースラインから2m以上離れた場合はアウトになる。

■守備側のプレーについて

- ・守備側のホーム上でのプレイは、他の守備側の選手にて行う。
- ・守備側は、フライの場合ノーバウンドで捕れば打者アウト。
(守備側の選手が弾いた球を他の野手がノーバウンドで取った場合も同様とする)
- ・野球等と同様にファールゾーンでのノーバウンドでのキャッチはアウトとする
- ・ゴロの場合、守備側の選手が走者より先にボールを手にして塁に触れればアウト。
- ・守備側のボールの受け渡しは手でも足でもどちらでも構わない。
- ・守備側の選手が走者にボールを当てた時点でボールはデッドとなり、他の走者は進塁できない。ただし、ボールが当たらなかった場合はフリーとなる。

例：ボールデッドの時点で走者が2・3塁間にいた場合は、走者3塁でストップ。ボールデッドの時点で走者が3・本塁間にいた場合、走者は本塁まで進塁できて1点が入る。

- ・ホームランラインより外側にてノーバウンドでキャッチしてもホームランである。

■コートサイズは以下の通りとする



